



2024年4月11日

各位

会社名 株式会社シー・ヴィ・エス・バイエリア
代表者名 代表取締役社長 泉澤 摩利雄
(コード番号 2687 東証スタンダード)
問合せ先 広報・IR担当 (TEL: 043 - 296 - 6621)

業績予想の修正及び繰延税金資産の計上に関するお知らせ

当社は、最近の業績を踏まえ、2023年10月11日に公表しました2024年2月期（2023年3月1日～2024年2月29日）の業績予想について、下記の通り修正しますのでお知らせいたします。また、繰延税金資産を計上する見込みとなりましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2024年2月期通期連結業績予想数値の修正（2023年3月1日～2024年2月29日）

	営業総収入	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2023年10月11日公表)	百万円 7,380	百万円 428	百万円 432	百万円 327	円 銭 66.24
今回発表予想 (B)	7,519	486	420	697	141.20
増減額 (B-A)	139	58	△12	370	
増減率 (%)	1.9	13.6	△2.8	113.1	
(ご参考) 前期実績 (2023年2月期)	6,926	81	47	△13	△2.74

(2) 2024年2月期通期個別業績予想数値の修正（2023年3月1日～2024年2月29日）

	営業総収入	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2023年10月11日公表)	百万円 2,943	百万円 255	百万円 294	百万円 258	円 銭 52.27
今回発表予想 (B)	3,107	297	291	631	127.83
増減額 (B-A)	164	42	△3	373	
増減率 (%)	5.6	16.5	△1.0	144.6	
(ご参考) 前期実績 (2023年2月期)	2,509	△102	△84	△82	△16.67

(3) 修正の理由

2024年2月期通期個別業績につきましては、インバウンド需要の拡大や団体旅行の復調、企業による出張やイベントの再開、行楽シーズンを中心とした国内旅行の好調を背景に、ホテル及びコンビニエンス・ストアの各事業とも、売上高、営業利益ともに前回予想を上回る見込みとなりました。一方、2023年12月に締結のコミット型シンジケートローン契約に伴う関連手数料の追加計上を行ったことなどから営業外費用が増加したため、経常利益は前回予想値に近い推移となる見込みです。なお、当期純利益は、前述の要因に加え、以下2.に記載の通り、繰延税金資産を計上したため、前回予想を上回る増益を見込んでおります。

2024年2月期通期連結業績につきましては、個別業績の影響に加え、マンションフロントサービス事業において、優秀人材の確保や賃金上昇物価高騰を背景とする待遇改善が進むことによる人件費の上昇や採用難を背景とする採用求人費の増加を見込み、収益予想を保守的に見積もっておりましたが、下期以降も人件費の過少傾向が続いたことなどから、営業利益は前回予想を上回る見込みとなりました。一方、投資事業組合運用損などの計上により営業外費用が増加したため、経常利益は前回予想を下回る見込みとなりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、前述の要因に加え、以下2.に記載の通り、繰延税金資産を計上したため、前回予想を上回る増益を見込んでおります。

2. 繰延税金資産の計上

今後の業績見通し等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、今後の一時差異等加減算前課税所得の増加による将来減算一時差異の回収可能性が高まったため、2024年2月期末の決算において、個別・連結ともに、繰延税金資産を計上しました。この結果、2024年2月期における法人税等調整額(益)は個別ベースで351百万円、連結ベースで408百万円となる見込みです。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。
今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上